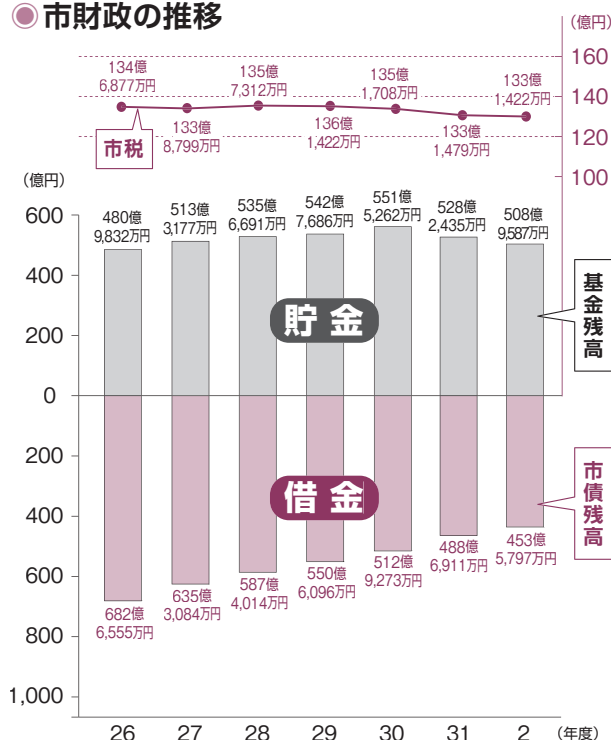


市財政の推移



※26～30年度は決算ベース、31年度は3月補正後の予算ベース、令和2年度は当初予算ベース。(基金残高、市債残高は年度末数値)
 ※基金残高には、各年度における出納整理期間に積立および取崩しを行った金額を含む。

用語の解説

歳入・歳出 地方公共団体のその会計年度の一切の収入を歳入、支出を歳出と呼んでいます。

自主財源 地方公共団体が自らの手で徴収、収納できる財源。地方税、使用料、寄附金などがあります。

依存財源 収入にあたって国や都道府県の関与を受ける財源。地方交付税、国庫支出金、県支出金などがあります。

地方交付税 市町村間の財政力の不均衡をなくし、一定の住民サービスができるよう市町村の財政力に応じて国から交付されるお金。普通交付税と特別交付税があります。

市債 市がする借金。世代間の負担の公平性を保つために道路や建物など長期にわたって市民が恩恵を受けるものを整備するときに活用します。

公債費 事業を行うための借金(市債)を返済する経費です。

市の会計には、税金や国・県からの交付金・補助金、市債などを財源として、全般的な行政の経費を扱う「一般会計」と、特定の事業を進めるため、使用料など特定の収入を充てて独立した経理を行う「特別会計」「企業会計」があります。

これらの収入と支出を取りまとめた冊子が予算書と呼ばれるもので、市長が予算案を作成し、市議会がそれをチェック・審議して決定します。

特別会計・企業会計別の予算額

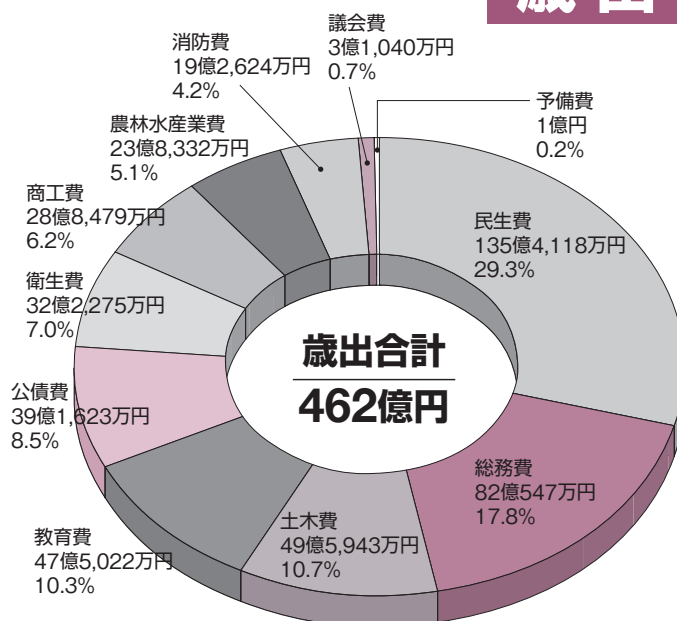
特別会計

区分	R2年度予算案	31年度予算(当初)	伸率(%)
国民健康保険事業(事業勘定)	89億5,000万円	95億1,900万円	△ 6.0
国民健康保険事業(直診勘定)	4億7,350万円	4億4,460万円	6.5
地方卸売市場事業	2,860万円	2,990万円	△ 4.3
学校給食費	3億9,580万円	3億9,890万円	△ 0.8
介護保険事業	96億2,030万円	96億2,280万円	0.0
観光施設事業	1億1,940万円	1億790万円	10.7
後期高齢者医療事業	13億3,900万円	12億2,800万円	9.0
下水道事業	—	31億8,420万円	皆減
農業集落排水事業	—	6億4,920万円	皆減
合 計	209億2,660万円	251億8,450万円	△ 16.9

企業会計

区分	R2年度予算案	31年度予算(当初)	伸率(%)
水道事業	34億9,400万円	36億6,280万円	△ 4.6
下水道事業	58億5,660万円	—	皆増
合 計	93億5,060万円	36億6,280万円	155.3

歳出



組み、耐震補強助成や無電柱化の促進、街路松之木千島線整備、高齢運転者交通安全対策などのまちの基盤の構築に関する取り組みなどをすすめます。

なお、次ページでは、新年度の事業の概要など、その取り組みについて主なものを紹介します。

● 予算の編成過程を公開中です
 市ホームページ(広報ID1008985)、市役所1階市民コーナー、各支所で閲覧できます。